2022 年度版

動物実験に関する現況調査票

国立大学法人東京医科歯科大学

2023 年　10 月

2022 年度版

Ⅰ．動物実験に関する組織

東京医科歯科大学動物実験委員会

	所属	職名	専門分野	カテゴリー＊
委員長	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	細胞生理学	①
副委員長	大学院医歯学総合研究科（生体検査科学系）	教授	生体機能システム学	①
委員	センター	センター長	病態細胞生物学	①
委員	センター	副センター長	疾患モデル動物解析学	②
委員	センター	講師	疾患モデル動物解析学	①
委員	センター	助教	疾患モデル動物解析学	②
委員	センター	准教授	疾患モデル動物解析学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	寄生虫学・熱帯医学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	歯周病学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	認知神経生物学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（生命理工学系）	教授	物質医工学	①
委員	教養部	教授	生物学	①
委員	生体材料工学研究所	教授	生体材料機能医学	①
委員	難治疾患研究所	准教授	分子神経科学	①
委員	難治疾患研究所	教授	病態生理化学	①
委員	（外部委員）	教授	経済学	③
委員	（外部委員）	教授	実験動物学	②

① 動物実験等に関して優れた識見を有する者

② 実験動物に関して優れた識見を有する者

③ その他の学識経験を有する者

2022 年度版

*2023 年 3 月末日の委員

実験動物センター運営委員会

	所属	職名	専門分野
委員長	センター	センター長	病態細胞生物学
副委員長	センター	副センター長	疾患モデル動物解析学
委員	センター	講師	疾患モデル動物解析学
委員	センター	助教	疾患モデル動物解析学
委員	センター	准教授	疾患モデル動物解析学
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	システム発生・再生医学
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	細胞生理学
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	分子発生・口腔組織学
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	分子情報伝達学
委員	難治疾患研究所	教授	分子細胞生物学
委員	大学院保健衛生学研究科	教授	生体機能システム学
委員	教養部	教授	生物学
委員	生体材料工学研究所	教授	生体材料機能医学
委員	難治疾患研究所	教授	病態生理化学

*2023 年 3 月末日の委員

Ⅱ．機関における動物実験の概要

1．動物実験を行う主たる研究分野

☑ 医歯薬学分野　　□ 畜産・獣医学分野
☑ 生物科学分野　　☑ 理工学分野
□ その他（　　）

2．年度ごとに使用した実験動物の種類と概数

動物種	マウス	ラット	ウサギ	マイクロミニピッグ	イヌ	ネコ	サル	ウシ	ブタ
使用数	63,975	1,888	17	4	14	0	0	0	46
飼養数	26,381	415	18	0	3	15	13	0	1

3．年度ごとの承認された動物実験計画数（変更申請を含まない）

動物実験計画数(2022 年度)	225 件

4．年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（再受講者を含まない）

教育訓練受講者数(2022 年度)	1,585 人

5．主要飼養保管施設

施設の名称	動物種	最大飼養頭数 （概数）
東京医科歯科大学 実験動物センター (中央飼養保管施設、第 1 飼養保管施設、 第 2 飼養保管施設)	マウス	37,127
	ラット	1,094
	ウサギ	69
	マイクロミニピッグ	18
	イヌ	26
	サル	12
	マーモセット	8
難治疾患研究所 未来ゲノム研究開発支援室	マウス	5,190

※2022 年 3 月時点での結果に基づく。

6．実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数：29 箇所

7. 施設の所在地と名称

所在地	施設の名称
〒113-8510 東京都文京区湯島 1 丁目 5-45	国立大学法人東京医科歯科大学
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 3-10	国立大学法人東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

8. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所（URL）：http://www.tmd.ac.jp/(大学 HP)
http://www.tmd-cea.jp/(実験動物センター・動物実験委員会 HP)

9. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

☑ 国立大学法人動物実験施設協議会会員
☐ 公私立大学実験動物施設協議会会員（会員番号：　　）
☐ その他(上記の会員ではない)

10. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL: http://www.m-kenshou.org/

☑ 行った

11. 特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）

本学の実験動物施設は、平成 22 年 4 月より全学中央飼養施設である実験動物センターとして組織改編され、中央飼養保管施設、第 1 飼養保管施設、第 2 飼養保管施設の 3 施設を有する。施設ごとに管理レベルを設定し、マウスなどの小型動物、並びに中型・大型動物を機能的に飼育･実験できるように 3 施設を運用している。

また、動物実験に対する適切な体制を整える為に「動物実験の相互検証プログラム」を 2012 年・2019 年に受審している。